

彼は代世を去つて其時として彼岸に黎明の光り人とする
予想しつつある。さすれば、民衆の彼等を送る政党者流
も、海賊と汚濁の深淵に陥るに任せよ。唯彼等と變つて同面
を尿題し、國民の爲め新日本を建設する途は果して何れなるを得
てあるか。彼等にはあつては得ず。

黎明は大地より来る。

夫れは吉野侯でもなく日本を破壊する悪党の民衆諸如何と存す。
社が秋に當り、福岡縣第十區選出の衆議院議員赤松嘉之助は、

去つて旬日の中、その補欠選挙が行はる。
此の選挙区は、盛賀、藤手、赤穂、中尾の一市三郡の地たる
や封莫的傳説を深く蔵して反動的諸勢力の根柢に任せつゝある
所。是がために衆議院百出して全土悉く靡爛し、独りブルジョア
シイは金殿を構へて驕凌、暴戾、狂悖の限りを盡す。民衆は、
搾取と悪政の犠牲となつて塗炭の苦に泣く。

由來北頃の地國會に人を送れば、世人之を呼んで着炭代議士
となす。身は無能なるも、よく人の膏血を搾つて巨富を積み、
金力で國會に議席を求め貪婪餽く所を知らざる、不正と不義と
を權にする事を諷するものがある。過去に之を承めて日く、藏
内次郎作、伊藤傳右衛門、堀三太郎がある。

彼等悉く暴戾狂悖、着炭代議士の巨魁にして、拾万の坑夫を
犠牲に、一仗に千萬の暴富をかち得たる者。其他日く青柳柳次
郎、大里九次郎、三好徳松等々何れも前者の走狗たるに過ぎない。
彼等、筑農の炭田を背景として政党にたり、或は利權を獲得
し或は中央の政商と結託し党利を渾り私腹を肥す。故蔵内次郎作
の如きは其の雄なる者。以て政界随落の源泉となり、官紀紊亂
の導火となる。

然し下ら、彼等俗悪腐爛の輩をして北筑の權勢を壟斷せしめた
者は、實に北筑の民衆の外ならなかつた。
今や民衆は彼等によることの難を益々自から窮地に陥れる
よりであることを覺つて来た。昨日は欺かれて味方としたが
今日は現実を曝露され、敢て之を敵にまはして闘はん事を決意
して居る。

斯くて腐敗し汚濁せる政党者流、罪惡の根幹たる既成政黨と
絶縁する事は、自覺した民衆が民衆自からの手に依つて『民衆
の爲の政治』を行はんとする第一前提である。

斯か切くたして醜惡極まる既成政黨は民衆が驚く可き自覺に
促すべからざること余議なくされて来た。

然も先給なる彼等は其の毒牙を飾飾して更に民衆を籠絡せん
とし、欺いて民衆に迎合するが如き、彼等の傀儡を担い来たつ
て是を國會に送り人として居る。

見よ、十區の補欠選挙に於ける彼等の劣悪なる策動と候補者
の顔ぶれを。

制限選挙は彼等唯一の根柢、其の折末種を苦ぐる最後の一致
の爲め、何ぞ、悲慘なる斯の切きものであるか、

これこそ制限選挙の下にあつて、我等の立候補するもとなり
絶望的の不利益なる事はいふまでもない。

我等は来る可き選挙による總選挙に腕を振して準備を急い
だものであつた。